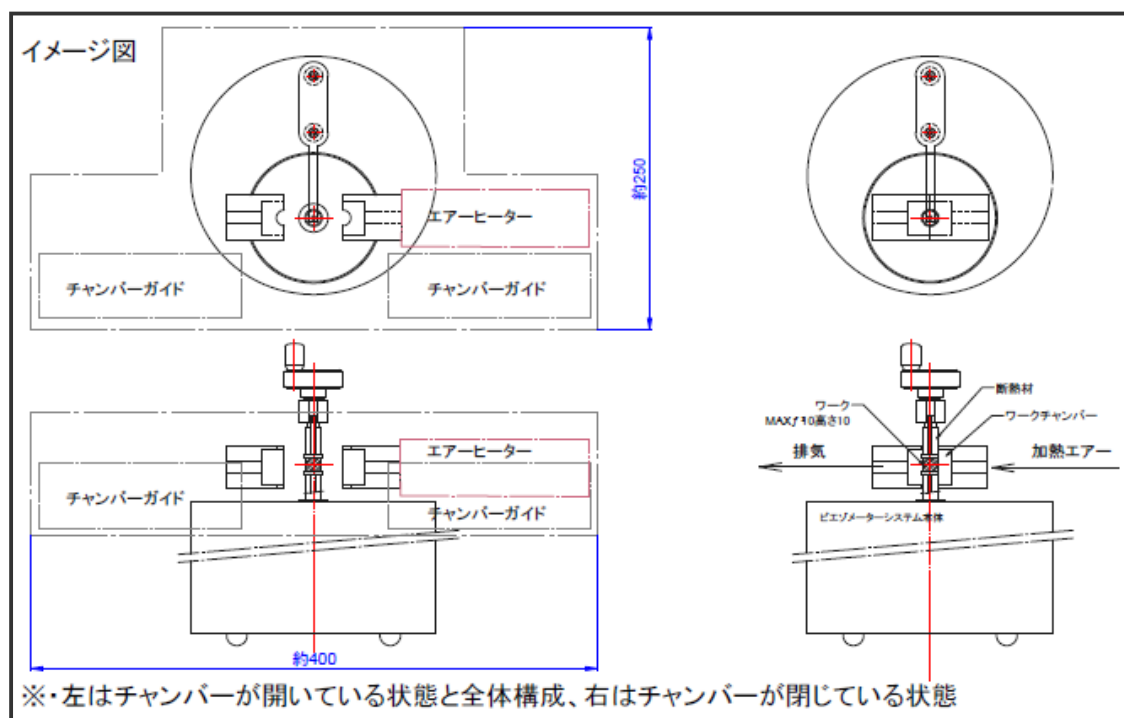
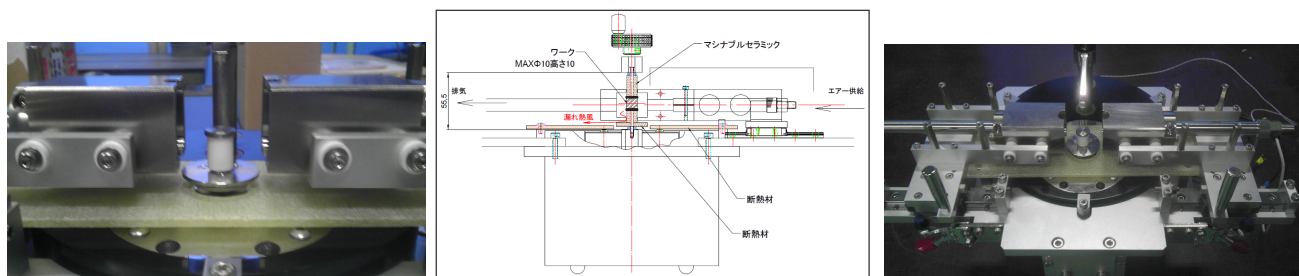


高精度ピエゾメーターシステム

ワーク加熱装置

本装置を PIEZO TEST 社製ピエゾメーターのフォースヘッドに取付けるだけで、従来は不可能だったピエゾメーターを使用した圧電素子の、一定温度条件下における d_{33} の変化の過程の観察が可能になりました。 既存フォースヘッドに載せるだけで、温度テストが容易に行えます。



1. 概要

ピエゾメーターシステムの下部電極と上部電極間に挟み込んだワークを所定の温度に加熱する装置で、加熱はエアークヒーターにより行います。ワーク加熱装置はピエゾメーターシステムのフォーメスヘッドに固定し、テストワーククランプ部とチャンバーの位置が保たれる構造となっています。

2. ワーク寸法: $\Phi 10\text{mm}$ 高さ 10mm 以内(チャンバー-内有効寸法: $30\text{mm} \times 24\text{mm}$) 試料サイズに設計可能

3. 加熱エア: エアーク加熱用ヒーターユニット使用: 使用温度 400 (使用最高温度: 800)

エアーク供給量: MAX30L/min 配管径 $\Phi 6\text{mm}$

4. 温度設定: 専用コントローラー使用

5. 測温位置: ヒーター直後としワークとヒーター間は 70mm 以内 (ワーク自体の温度測定なし)

6. 温度上昇時間: ワークポイントにて ~ 400 (± 10) 10min 以内

7. チャンバー材質: SUS 製

開閉方法 = 2 分割突き合わせ方式(スライドユニットによるガイド) 開時の間隔 40mm 以上

8. 断熱: 断熱材を用い漏れエアーク、ふく射熱がピエゾメーター本体に直接かからない構造

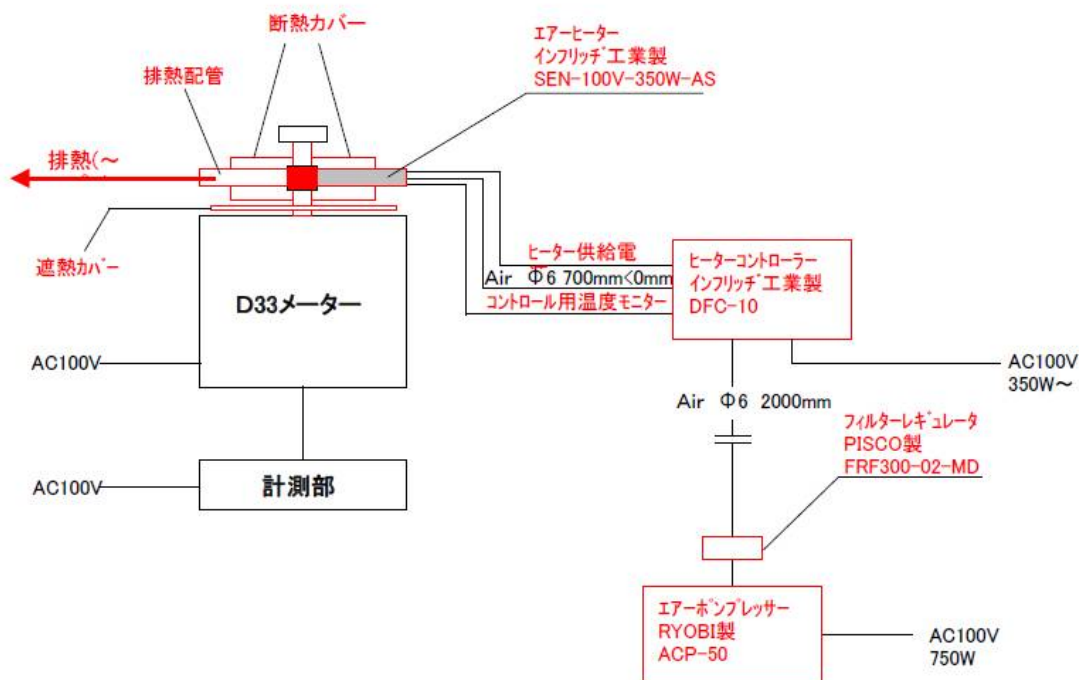
9. 安全: ヒーター部、チャンバー部にはカバーを設け作業時の接触を防止

10. 外形寸法: 本体 = $W400\text{mm} \times D250\text{mm}$ 高さはピエゾメーターの高さ以下

コントローラー = $W180\text{mm} \times D200\text{mm} \times H120\text{mm}$

11. ユーティリティー: 電源 100V 圧空: 0.5MPa 排気: 400 30L/min エアーク配管: $\phi 6\text{mm}$

ピエゾメーター素子ヒーターシステムシステム図



製造: 高山理化精機(株)

販売: アルファ株式会社

〒264-0025 千葉市若葉区都賀 3-10-3 POビル

Tel: 050-3373-9558 Fax: 043-235-2731

email: info@alphacorp.ecweb.jp http://www.alphacorp.ecweb.jp